

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2014. 3. 10 No.1088

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

3～6月は 春の組織拡大月間

新規採用者、未加入者
非正規労働者へ
あなたから組合加入の一声を

震災を「風化させない」

3・11明日につなげる大集会

東日本大震災からおよそ3年となる3月2日、名古屋市中区のエンゼル広場で「3・11明日につなげる大集会」が開催され、1500人が参加しました。

集会では、反原発連合のミサオ・レッドウルフさんと福島大学准教授の丹波史紀さんが「脱原発」について対談。ミサオさんは「震災から3年が経ち、原発事故が風化しつつある。私たち一

人一人が忘れないことが大事」、丹波さんからは「故郷から離れるか、仕事を放棄するか、苦しい決断を迫ったのが震災の特徴。苦しい避難生活の中で亡くなる方が今も後を絶たない」と福島の厳しい実情を訴えました。



震災の起きた14時46分に東北へ向けて黙祷を捧げる参加者

14春闘で必ず『ベア』を 新採全員加入は大きな力

連会 労南 医名 労組



3月2日に行われたナースウェーブに参加する医労連の仲間

「賃上げは当たり前」と今、民間の職場で春闘ヤマ場に向け、たたかいが力強くすすめられています。病院や診療所、介護や福祉などの職場で働く職員をつくる労働組合、愛知県医労連（愛知県医療介護福祉労働組合連合会）の春闘を取材しました。

「今年は必ず『ベア』（給与の基本給部分の引き上げ）を勝ちとる」と力強く語るの、名古屋市中区にある医療法人名南会で働く職員をつくる名南会労

動組合の書記長・中井宏美さん。約300人の組合員を束ねます。名南会労組では毎年、春闘で人員増などを中心に要求していましたが、今年例年以上に『必ずベアを』と医労連の統一要求に合わせ、月額4万円の賃上げを求めています。

賃上げは当たり前という現在の情勢を反映して、「昨春の途中から組合員より『ベア』という声が上がるようになり、組合の春闘ニュースでも取り上げま

した。職種手当改善など個別だった賃上げ要求が、『ベア』という全職員の賃金底上げ要求に変わりました」と組合員の意識の変化を語ってくれます。4月からの消費税増税や物価高などの生活負担増を前に、名南会労組は『ベア』実現に向けて全力のとり



中井宏美書記長

「一緒に働きがいある職場つくろう」 先輩の呼びかけに新しい仲間続々

新採組合 説明会

2月から始まった新人職員研修にあわせて、各単組で組合説明会が開催されています。

24日に半田市職、27日に知立市職、28日に碧南市職で若手先輩が呼びかけ、たくさん仲間が自治労連へ加入しています。

先輩の訴えで 22人が加入 半田

半田市職の組合説明会



若手の先輩組合員から呼びかけ(半田)

「上司や先輩、違う部署の人とも組合を通して仲良くなれる。福利厚生もしっかりしている」とアピール。また採用26年目のベテラン女性組合員から「育児休暇を3年間取れるのも組合運動の成果。このメリットは私たち、そして皆さんが次の世代に渡すもの」と女性目線で訴え、22人が加入しました。

説明会参加者 13人が加入 碧南

碧南市職の組合説明会には、新規採用15人中14人が参加。昨年、市役所に入職したばかりの若手女性組合員が、この間のほっこ



次々と加入書へ記入(碧南)

りツアーやおきプロNEXXTに向けたとりくみを通じて「学ぶことや仲間との交流で、組合の楽しさ、大切さを実感しました。みなさん、一緒に楽しい、働きがいのある職場をつくりましょう」と元気いっぱいアピール。各テーブルをこまめに回って共済のメリットや書き方を説明し、参加した13人が加入しました。

ていることが当たり前にしたい。1年目の職員が交渉で職場の代表として、みんなの思いを伝えてくれるんです」と若い世代の活躍を誇らしげに語ってくれます。

今後の目標を尋ねると、「今、休みが取れないなど厳しい労働条件のもと、月に1人は若い職員が退職してしまう。『ベア』とともに、みんなが安心して働き続けられる職場をつくりたいです」と語ってくれました。

「言いたい劇場」

小菅りや子



セット共済 安くて安心

自治労連 掛金 1820円/月 → 病气入院 5000円/1日



焼津駅を出発し久保山愛吉氏の墓へ行進する2000人の参加者

集会は、はじめに主催者を代表して川本司郎・静岡県実行委員会代表委員が、「来年は広島・長崎の被爆から70年を迎える。今、核の恐ろしさを伝える重要な機会に上がっている。核を持っては優位に立っているという考え方は間違いだ」とあいさつ。マーシャル諸島からの報告では、ロンゲラップ島被爆者のレメヨ・アポンさんの「島民は被ばくし、研究対象とされ、爆弾の子」と差別された。皆さんとともにアメリカに道義的責任を追及していきたい」とのメッセージが紹介されました。

集会は最後に、全国から草の根の運動を展開し、核兵器全面禁止を求めて行動するアピールが満場の拍手で採択され閉会しました。

2年連続で参加した名古屋市長古賀元は、「毎年3月1日にみんながともに歩き、集まり続けてきたことに、平和を思う気持ちがあつながらいることを強く感じる」と思いを語ってくれました。

「核の無い世界を」

受け継がれる平和への願い

3・1ピキニデー集会

静岡県焼津市のマグロ漁船「第五福竜丸」が太平洋のピキニ環礁で被ばくしてから60年目を迎える3月1日、焼津市文化センターで「核のない世界を実現しよう」と3・1ピキニデー集会が開催され、全国から2400人が参加しました。

集会前には、「第五福竜丸」の乗組員、久保山愛吉さんのお墓のある弘徳院にむけて2000人が墓参り進み、墓前に核廃絶を誓いました。

おきプロNEXT

参加者募集中!

第1次締め切り 3月20日だよ!



オープニングでは歌と踊りが全国の保育者を出迎えました

充実した保育内容が実現へ

自治体保育労働者の全国集会「おおさか」が2月22日〜23日に開催されました。集会には、来年4月から本格施行となる「子ども・子育て支援新制度」が、財源確保をはじめ多くの課題が未定なまま実施されようとしている「新制度」について学びたい、最新の情勢や各地方のとりくみなどを交流したいと、全国から延べ1100人が参加、愛知県本部保育所部会から9単組60人の保育士が参加しました。

「第22回自治体保育労働者の全国集会 in おおさか」が2月22日〜23日に開催されました。集会には、来年4月から本格施行となる「子ども・子育て支援新制度」が、財源確保をはじめ多くの課題が未定なまま実施されようとしている「新制度」について学びたい、最新の情勢や各地方のとりくみなどを交流したいと、全国から延べ1100人が参加、愛知県本部保育所部会から9単組60人の保育士が参加しました。

単組定期大会 役員紹介

- 蟹江町職労 (2月21日)
 - 執行委員長 二村 和弘
 - 副委員長 和田真由巳
 - 書記 長 若松 明美
 - 学事労 (2月28日)
 - 執行委員長 鈴木かおる
 - 副委員長 佐藤 建一
 - 書記 長 小川あさ子
 - 書記次長 橋本 容子

おきプロNEXT **人物紹介**

あいち実行委員会 **おきプロNEXT** 6/13Fri ~ 6/15Sun

おきプロNEXT みんなで行こうぜ!

「おきプロNEXT」あいち実行委員の田中智啓です。豊橋市役所の環境保全課で働いています。

僕が、「おきプロNEXT」あいち実行委員会に参加した理由は、昨春秋に行われた県本部主催の「ほっこりツアー」に参加して、県内の仲間とつながる楽しさを知ったから。「おきプロNEXT」では全国の青年が沖縄に集まると聞いて、すごく楽しそうだったので参加するのなら、より楽しく、より学べる集会にしたい! そう思って実行委員会に参加しました。

「おきプロNEXT」が参加するみんなに何かしら「ぎっかけ」になって欲しい。沖縄の問題を知ること、全国や愛知の仲間と出会うこと、自分自身の仕事や働き方を考えることなど、参加者が「おきプロNEXT」に参加してよかったなと思える集会にしていきたいと思えます。みんなで行こうぜ! 沖縄!

物販も好評!

3月2日、「3・11明日につなげる大集会」に実行委員会も参加。物資販売も行い、オリジナルタオルを50枚以上売り上げました!

「沖縄の問題も原発の問題も根っこは同じ」と参加者